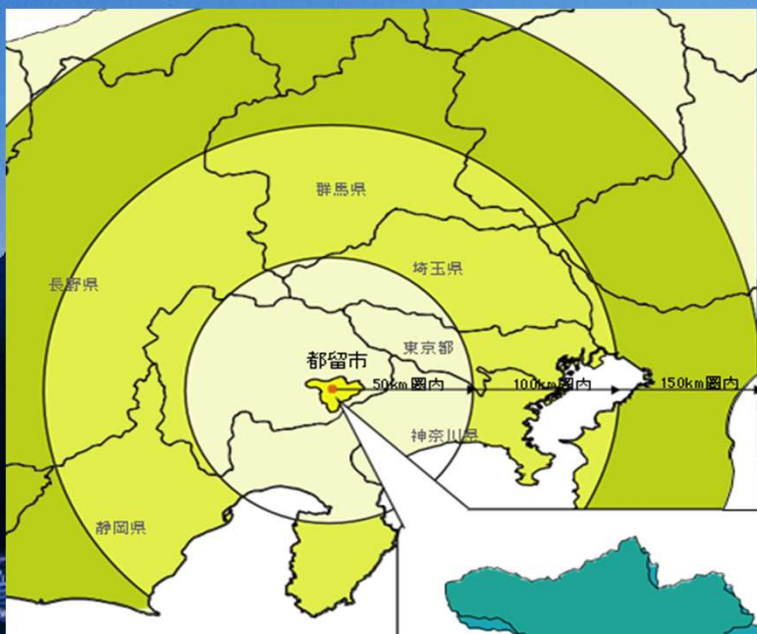


つるし 都留市

～富士の麓の小さな城下町～

令和5年度 企業版ふるさと納税に係る大臣表彰
2024.2.13

都留市

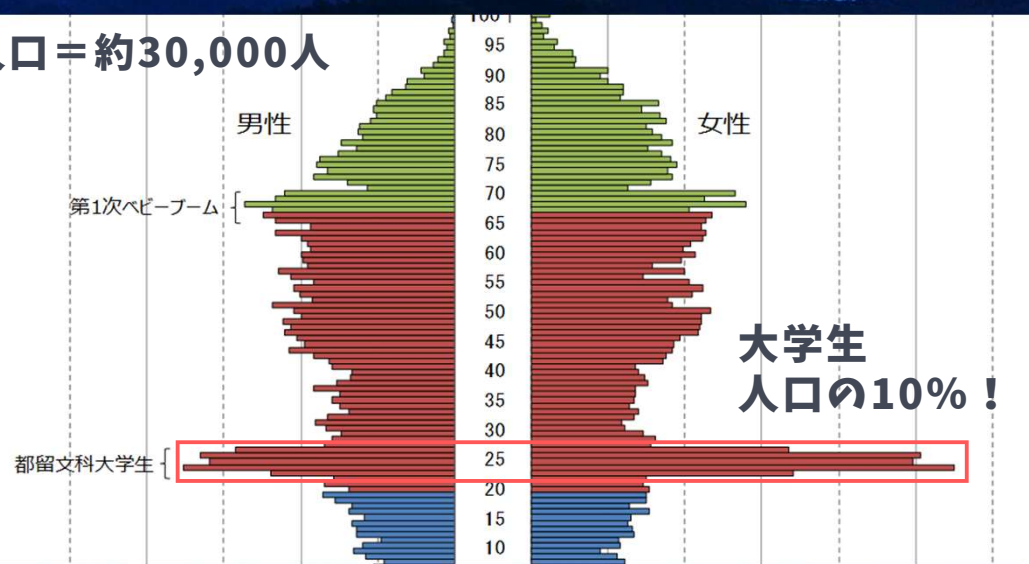


都留市

- ・新宿から90km
- ・電車で約80分
- ・車で約60分

- ・「生涯活躍のまち事業」を積極的に推進
- ・市内に3つの高等教育機関が立地し、学びのまち「教育首都つる」を標榜
(都留文科大学・健康科学大学看護学部・産業技術短期大学校)
- ・自然と科学 (富士山の伏流水・リニア実験線つるアルプス・自然体験施設)
- ・文化 (城下町・おすそ分け精神)

人口=約30,000人



事業導入の背景・課題

課題①

子どもたちの学び・地域への関心が低い
教育首都つるなのに！？

→子どもの学習意欲が低い・・・
学びの選択肢が少ない・・・

課題②

大学生や市内若年層など若者の就業先が少ない
毎年800名の若者が都留市に来ているのに！？

→1%しか残らない・・・
特に都留文科大学は教育系の大学であるため
市内に仕事がない・・・

課題解決のためのプロボノ活動が企業版ふるさと納税に



令和3年度

生涯活躍のまちの取り組みの一環で
プロボノ活動として参画した都市部
企業の方々と、本市の課題解決のた
めの教育環境のあり方について議論

「探究型学習」を柱とした本市の新
しい教育環境の構築を目指す「まな
びの未来づくり事業」を実施へ

ここまでの一連の取り組みにご関心をお寄せいただいた
株式会社ニコン日総プライム様より

企業版ふるさと納税（人材派遣型）の申し出があった

まなびの未来づくり事業の取組の状況

令和4年度から株式会社ニコン日総プライム
より派遣された石井弦一郎氏の受入を開始
石井氏が中心となり事業の推進主体となり

一般社団法人

都留まなびの未来づくり推進機構を設立

探究まなび場つるラボの運営開始

市内外の大学や企業と連携し、

子ども向けの各種プログラムの提供開始

大人向けのまなび場つるラボゼミや

映画上映会なども実施





各種制度及び地域資源を活用した地方創生事業に発展

企業版ふるさと納税



関係人口

都留文科大学



都市部企業
プロボノ人材

都留市
まなびの未来づくり事業



地域活性化起業人

東京大学
フィールドスタディ型
政策協働プログラム



デジタル田園都市
国家構想交付金

地域おこし協力隊



地域の人材・
起業家・企業

まなびの未来づくり事業が目指すもの

産・官・学が連携しそれぞれの強みを生かし

『つるラボを自立化』

させ持続可能な

『新しい子どもの学びの場』

をつくりだすことで

子どもたちの学びの選択肢を増やし

学びの場のニーズ拡大により

『大学生の卒業後の就業先』

となる教育産業を創出する



つる
ラボ
探究
まなび場

ご清聴ありがとうございました